

山形市 ウォーキングマップ

スタート

①金井コミュニティセンター

蔵をイメージした外観です。内装には木を使用し、周辺の環境との調和を図りながら地区のまちづくりや交流が活発に行われるような空間づくりに配慮されています。



②トンボのモニュメント

こども園の敷地内に建つトンボのモニュメントです。道行く人をちょっとだけ癒してくれます。



③ハケ郷堰碑と史跡「桜の渡し」

1622年頃まで、この場所には馬見ヶ崎川が流れており、大きな桜の木と渡し場があったことから、「桜の渡し」と呼ばれていました。また、その流れを利用して今では「山形五堰」の一つであるハケ郷堰が流れています。



④七つ橋の碑

碑によると、陣場新田は戦国時代に始まるといわれています。そこには7つの橋があり、人々は感謝をこめて朝晩この橋を渡っていたといわれています。そしていつしか「七つ橋唄」ができたといわれています。唄は隣にある地藏尊のお堂の中に貼られています。



⑤吉野宿三堂

手前より、稲荷神社、地藏堂、阿弥陀堂です。地藏堂が最も古く、1838年に再建した棟札（寺社の建築、修復を記録した札）が残されています。地域の信仰も厚く、地元住民の方のお話では、平成の始め頃、この地区には寺院がなかったため阿弥陀堂で葬儀が行われていたそうです。



コース 距離：約4,000m 時間：約75分 カロリー：約200Kcal 歩数：約5,000歩

街道と堰が紡ぐ歴史をたどる



公式HP

ゴール

⑦ほなみ水田

金井小学校が地域住民の方からお借りしている水田です。金井小学校の5年生が米作り体験のために稲を育て、収穫しています。広さは約1,200㎡です。



⑥貴船神社

飢饉が続いたため、五穀豊穡を祈って建てられたと伝わっています。住宅街の一角に位置しながらも、茂った木々に囲まれた社は静謐を湛えています。

